

環境関連データ

温室効果ガス

CO₂排出量 Scope1 (直接排出)^{※1}

国別	2022年度	2023年度	2024年度
日本	130,010	101,695	110,323
インドネシア	25,291	24,417	22,846
マレーシア	2,990	3,003	2,949
その他	0	0	0
合計	158,291	129,115	136,118

CO₂排出量 Scope2 (エネルギー起源間接排出)^{※1}

国別	2022年度	2023年度	2024年度
日本	300,419	244,353	248,580
インドネシア	162,034	159,580	143,142
マレーシア	18,409	19,137	18,788
その他	27	29	29
合計	480,889	423,099	410,539

CO₂排出原単位

Scope1 (直接排出) + Scope2 (エネルギー起源間接排出)^{※1}

	2022年度	2023年度	2024年度
生産台数当たり	0.43	0.48	0.49

※1 使用した排出係数の情報源

電力：2022年度 IEA「Emissions Factors 2022」
 2023年度 IEA「Emissions Factors 2023」
 2024年度 IEA「Emissions Factors 2024」
 電力以外：CO₂排出係数2023年値用（経産省/温対法）
 <対象範囲>
 ダイハツ工業および連結子会社（販売会社を除く）

CO₂排出量 Scope3 (その他間接排出)^{※2}

	2022年度	2023年度	2024年度
1 購入した製品・サービス ^{※3}	840.6	680.5	684.7
4 輸送、配送（上流） ^{※4}	4.0	3.3	13.7
9 輸送、配送（下流） ^{※4}	—	—	4.1
11 販売した製品の使用 ^{※5}	3,121.3	2,403.4	2,321.3
12 販売した製品の廃棄	29.0	40.9	39.8
14 フランチャイズ	11.6	8.1	XX
合計	4,006.5	3,136.2	3,063.6 ^{※6}

※2 <対象範囲> ダイハツ工業、ダイハツ九州およびADM
 <排出係数>

カテゴリー1：環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定ための排出原単位データベース」、LCIデータベースIDEA Ver. 3.2など
 カテゴリー11：国土交通省 自動車燃費一覧、LCIデータベースIDEA Ver. 3.2など

※3 ● 購入した製品の製造によるCO₂排出量は、LCA評価法より求める個車の素材・部品製造によるCO₂排出量と生産台数より計算
 ● メンテナンスによるCO₂排出量は、LCA評価法より求める個車のメンテナンスによるCO₂排出量と販売台数より計算
 ● 生産活動に用いる副資材生産によるCO₂排出量は、副資材購入金額とCO₂排出原単位より計算
 ● 試作車の製作によるCO₂排出量は、LCA評価法より求める個車のCO₂排出量と試作車台数より計算

※4 2023年度まではLCA評価法より求める個車の上流輸送によるCO₂排出量と販売台数より計算。2024年度はTMCの手法に準じて計算

※5 ● 製品使用によるCO₂排出量は、算定条件をSBTiガイダンスに基づく。各車燃費値は日本：WLTP、インドネシア：NEDCをWLTPに標準化した値に、それぞれ-10%（実燃費を考慮）、WtW (Well to Wheel) で計算
 ● 年間走行距離はSBTiにより、生涯使用年数はTMCに準ずる

※6 「14 フランチャイズ」のCO₂排出量は算定中である為、合計に含まない

GRI > 302-2, 302-5, 305-1, 305-2, 305-3, 305-4, 305-5

CO₂排出量

Scope1 (直接排出), Scope2 (エネルギー起源間接排出)
 Scope3 (その他間接排出)

	2022年度	2023年度	2024年度
Scope1+2+3 合計	4,070.4	3,191.4	3,118.3 ^{※6}

物流CO₂排出量

	2022年度	2023年度	2024年度
日本	7,368	6,538	6,721

<対象範囲> 国内

新車平均CO₂排出量：グローバル

国別	2022年度	2023年度	2024年度
日本 ^{※7}	120.7	119.9	120.3
インドネシア ^{※7}	150.9	145.6	147.9

<対象範囲> ダイハツ工業およびダイハツ九州、ADM

※7 各国・各地域の燃費/CO₂/GHG規制テストモードでのTtW (Tank to Wheel) 値
 日本：WLTCモード
 インドネシア：NEDCモード

電動車販売台数：グローバル

	2022年度	2023年度	2024年度
HEV	13.5	2.3	6.7

SECTION 7

データ

109 環境関連データ

116 社会関連データ

117 GRI対照表

124 編集方針・更新履歴

トップメッセージ

SECTION 1

ダイハツ工業とは

SECTION 2

ダイハツ工業のストーリー

SECTION 3

ダイハツ工業のサステナビリティ

SECTION 4

環境

SECTION 5

社会

SECTION 6

コーポレートガバナンス

SECTION 7

データ

エネルギー

エネルギー消費量

(GJ)

国別	2022年度	2023年度	2024年度
日本	4,321,980	3,491,826	3,717,998
インドネシア	1,240,540	1,205,801	1,108,184
マレーシア	158,054	168,076	163,499
その他	190	198	197
合計	5,720,764	4,865,901	4,989,876

〈対象範囲〉ダイハツ工業および連結子会社（販売会社を除く）
 〈使用した変換係数の情報源〉
 電力：3.6GJ/MWh
 電力以外：経済産業省「エネルギー源別標準発熱量・炭素排出係数（2023年度改訂）の解説」

(GJ)

種類別	2022年度	2023年度	2024年度
電力	3,130,641	2,750,031	2,710,288
A重油	91,520	63,812	70,901
LPG	643,870	486,672	581,988
都市ガス	871,725	662,477	747,272
灯油（特灯油含む）	13,418	11,446	8,441
天然ガス	530,954	515,466	486,833
軽油	121,078	109,033	110,815
ガソリン	53,190	46,981	57,249
コークス	253,948	211,696	212,586
LNG	10,458	8,314	3,531
合計	5,720,801	4,865,928	4,989,904

(GJ/台)

原単位	2022年度	2023年度	2024年度
生産台数当たり	3.87	4.25	4.51

109 環境関連データ

116 社会関連データ

117 GRI対照表

124 編集方針・更新履歴

トップメッセージ

SECTION 1
ダイハツ工業とは

SECTION 2
ダイハツ工業のストーリー

SECTION 3
ダイハツ工業の
サステナビリティ

SECTION 4
環境

SECTION 5
社会

SECTION 6
コーポレートガバナンス

SECTION 7
データ

水

取水量[※]

国 別	(千m ³)		
	2022年度	2023年度	2024年度
日本	2,584	2,069	1,707
インドネシア	1,520	1,382	1,073
マレーシア	84	70	70
合計	4,188	3,521	2,850

水源別	(千m ³)		
	2022年度	2023年度	2024年度
地表水	0	0	0
地下水	1,551	1,244	830
海水	0	0	0
生産随伴水	0	0	0
第三者の水	2,637	2,277	2,021
合計	4,188	3,521	2,850

排水量[※]

国 別	(千m ³)		
	2022年度	2023年度	2024年度
日本	2,260	1,886	1,594
インドネシア	1,071	1,002	787
マレーシア	72	56	57
合計	3,403	2,944	2,438

排水先別	(千m ³)		
	2022年度	2023年度	2024年度
地表水	2,372	1,993	1,617
地下水	0	0	0
海水	0	0	0
第三者の水	1,031	950	821
合計	3,403	2,944	2,438

水消費量[※]

	(千m ³)		
	2022年度	2023年度	2024年度
水消費量	785	577	413

〈算定方法〉
GRI303に従い下記の式で算出
水消費量 = 総取水量 - 総排水量

※対象：ダイハツ工業生産拠点および連結生産子会社生産拠点

109 環境関連データ

- 116 社会関連データ
- 117 GRI対照表
- 124 編集方針・更新履歴

トップメッセージ

SECTION 1
ダイハツ工業とは

SECTION 2
ダイハツ工業のストーリー

SECTION 3
ダイハツ工業の
サステナビリティ

SECTION 4
環境

SECTION 5
社会

SECTION 6
コーポレートガバナンス

SECTION 7
データ

リサイクル

原材料使用量

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
鋼材	千トン	844	869	654
鋳鉄	千トン	46	51	39
非鉄金属	千トン	99	99	77
スクラップ	千トン	285	290	222
メッキ	百万dm ²	3.5	10.7	9.8
樹脂	千トン	83	90	70
ゴム	千トン	16	19	14
塗料	千トン	11	10	8
燃料/油脂	千kl	80	87	74

〈対象範囲〉ダイハツ工業およびダイハツ九州

廃車適正処理台数

	2022年度	2023年度	2024年度
廃車適正処理台数	393,149	408,334	377,733

〈対象範囲〉国内で販売しているダイハツブランド

リサイクル率

	2022年度	2023年度	2024年度
リサイクル実効率(車両換算値)	99.4	99.4	99.4
ASR再資源化率	96.4	96.6	96.4

〈リサイクル実効率の定義〉

解体・シュレッダー工程までで再資源化される比率約83%（「自動車リサイクル法審議会報告書」より引用）に、残りのASR比率17%×ASR再資源化率96.1%を合算して算出

〈ASR〉

ASRとは使用済自動車からエアバッグ類・フロン類・エンジン・ハーネスなどの部品を取り外し、破碎して有価金属を回収したあとの残渣

〈ASR再資源化率の定義〉

ASR再資源化率=再資源化量/引き取り量

〈対象範囲〉国内で販売しているダイハツブランド

ASR処理量

	2022年度	2023年度	2024年度
ASR処理量	52,766	55,238	51,446

〈対象範囲〉国内で販売しているダイハツブランド

部品リサイクル量

	2022年度	2023年度	2024年度
バンパー	53	54	55

〈対象範囲〉国内

109 環境関連データ

116 社会関連データ

117 GRI対照表

124 編集方針・更新履歴

トップメッセージ

SECTION 1
ダイハツ工業とは

SECTION 2
ダイハツ工業のストーリー

SECTION 3
ダイハツ工業の
サステナビリティ

SECTION 4
環境

SECTION 5
社会

SECTION 6
コーポレートガバナンス

SECTION 7
データ

廃棄物

廃棄物量^{※1}

(トン)

国別	2022年度	2023年度	2024年度
日本	40,191	34,783	31,351
インドネシア	9,901	9,680	9,542
マレーシア	1,971	2,175	2,244
合計	52,063	46,639	43,138

(トン)

種類別	2022年度	2023年度	2024年度
無害廃棄物	51,494	46,189	42,671
有害廃棄物	568	450	467
合計	52,063	46,639	43,138

(トン)

処分作業別	2022年度	2023年度	2024年度
逆有償りサイクル	43,641	39,677	36,217
焼却廃棄物	3,136	1,972	2,080
埋立廃棄物	5,285	4,989	4,840
合計	52,063	46,639	43,138

〈逆有償りサイクルの定義〉費用を支払ってリサイクルするもの

(kg/台)

原単位	2022年度	2023年度	2024年度
生産台数当たり	35.26	40.77	38.97

※1 〈対象範囲〉ダイハツ工業生産拠点および連結生産子会社生産拠点

VOC・NOx・SOx

VOC排出量^{※2}

(千トン)

	2022年度	2023年度	2024年度
VOC	5.07	3.93	3.50

※2 〈対象範囲〉ダイハツ工業および連結子会社（販売会社を除く）

NOx、SOx 排出量^{※3}

(千トン)

	2022年度	2023年度	2024年度
NOx	113	106	89
SOx	10	10	11

※3 〈対象範囲〉ダイハツ工業およびダイハツ九州
 〈算出方法〉燃料使用量×燃料ごとの排出係数

〈定義〉VOC：揮発性有機化合物
 NOx：窒素酸化物
 SOx：硫黄酸化物

109 環境関連データ

116 社会関連データ

117 GRI対照表

124 編集方針・更新履歴

トップメッセージ

SECTION 1
ダイハツ工業とは

SECTION 2
ダイハツ工業のストーリー

SECTION 3
ダイハツ工業の
サステナビリティ

SECTION 4
環境

SECTION 5
社会

SECTION 6
コーポレートガバナンス

SECTION 7
データ

水質・大気

本社(池田)工場 第1地区

(mg/L)

排水 (2024年)				
項目	基準値	最大	最小	平均
pH	5.7~8.7	7.9	6.4	7.2
COD	—	5	2未満	3.5
BOD	300	2未満	2未満	2未満
SS	300	2	1未満	1未満
油(鉱油)	5	1未満	1未満	1未満
亜鉛	2	—	—	—
全窒素	240	3	1未満	2未満
全リン	32	0.4	0.1未満	0.2

大気 (2024年)			
物質	設備	基準値	実績
NOx (cm ³ /Nm ³)	ボイラー	150	37
煤塵 (g/Nm ³)	ボイラー	0.1	<0.001

本社(池田)工場 第2地区

(mg/L)

排水 (2024年)				
項目	基準値	最大	最小	平均
pH	5.7~8.7	7.6	6.7	7.2
COD	—	30	2未満	16
BOD	300	63	2未満	33
SS	300	7	1未満	4
油(鉱油)	5	1未満	1未満	1未満
亜鉛	2	0.1未満	0.1未満	0.1未満
全窒素	240	5	1未満	3
全リン	32	0.1未満	0.1未満	0.1未満

大気 (2024年)			
物質	設備	基準値	実績
NOx (cm ³ /Nm ³)	ボイラー	150	59
	乾燥炉	230	34
煤塵 (g/Nm ³)	ボイラー	0.1	0.004
	乾燥炉	0.2	0.003

京都(大山崎)工場

(mg/L)

排水 (2024年)				
項目	基準値	最大	最小	平均
pH	5.0~9.0	7.4	6.9	7.2
BOD	600	170	4	87
SS	600	310	2	156
油(鉱油)	5	3	1未満	2
溶解性マンガン	10	1.7	0.1未満	0.9
鉛およびその化合物	0.1	0.01未満	0.01未満	0.01未満
全窒素	240	9	3	6.5
全リン	32	1.9	0.2	1.1

大気 (2024年)			
物質	設備	基準値	実績
NOx (cm ³ /Nm ³)	ボイラー	150	67
	乾燥炉	230	42
煤塵 (g/Nm ³)	ボイラー	0.1	0.002
	乾燥炉	0.3	—

トップメッセージ

SECTION 1
ダイハツ工業とは

SECTION 2
ダイハツ工業のストーリー

SECTION 3
ダイハツ工業の
サステナビリティ

SECTION 4
環境

SECTION 5
社会

SECTION 6
コーポレートガバナンス

SECTION 7
データ



水質・大気

滋賀(竜王)工場 第1地区

(mg/L)

排水 (2024年)				
項目	基準値	最大	最小	平均
pH	6.0~8.0	7.4	6.8	7.1
COD	20	9	2未満	5.5
BOD	20	5	2未満	3.5
SS	20	2	1未満	1.5
油(鉱油)	3	1未満	1未満	1未満
銅	0.1	0.01未満	0.01未満	0.01未満
フッ素	3	0.4	0.1未満	0.25
亜鉛	0.5	0.1未満	0.1未満	0.1未満
溶解性鉄	4	0.1未満	0.1未満	0.1未満
全窒素	8	2	0.1未満	1.5
全リン	0.8	0.2	0.1未満	0.15

滋賀(竜王)工場 第2地区

(mg/L)

排水 (2024年)				
項目	基準値	最大	最小	平均
pH	6.0~8.0	7.7	7.0	7.4
COD	20	11	2未満	6.5
BOD	20	6	2未満	4
SS	20	4	1未満	2.5
油(鉱油)	3	1未満	1未満	1未満
銅	0.1	0.01未満	0.01未満	0.01未満
フッ素	3	0.2	0.1未満	0.15
亜鉛	0.5	0.3	0.1未満	0.2
溶解性鉄	4	0.2	0.1未満	0.15
全窒素	8	4	1	2.5
全リン	0.8	0.1未満	0.1未満	0.1未満

大気 (2024年)

物質	設備	基準値	実績
NOx (cm ³ /Nm ³)	アルミ溶解炉	180	40
煤塵 (g/Nm ³)	アルミ溶解炉	0.2	0.002

大気 (2024年)

物質	設備	基準値	実績
NOx (cm ³ /Nm ³)	乾燥炉	230	13
	ガスタービン	70	20
煤塵 (g/Nm ³)	乾燥炉	0.2	0.003
	ガスタービン	0.05	0.002

トップメッセージ

SECTION 1
ダイハツ工業とは

SECTION 2
ダイハツ工業のストーリー

SECTION 3
ダイハツ工業の
サステナビリティ

SECTION 4
環境

SECTION 5
社会

SECTION 6
コーポレートガバナンス

SECTION 7
データ



社会関連データ

GRI > 2-7, 2-8, 2-30, 401-1, 401-3, 405-1

従業員

	単位	2022年	2023年	2024年
従業員数 (グローバル)		46,152	46,191	46,815
従業員数 (単体)	合計	12,426	12,508	12,470
	男	11,450	11,522	11,458
	女	976	986	1,012
	正規	11,407	11,133	10,977
従業員数 (契約別) (単体)	非正規	1,019	1,375	1,493
従業員以外の労働者数 (単体)		1,843	1,661	1,803
採用人数 (単体)	合計	302	283	464
	男	263	237	385
	女	39	46	79
平均年齢 (単体)	合計	41.0	41.2	41.6
	男	41.2	41.4	41.8
	女	38.8	39.0	39.3
勤続年数 (単体)	合計	19.0	18.9	19.2
	男	19.2	19.2	19.4
	女	16.2	16.1	16.2
	管理職 (単体)			
離職率 (単体) ※1	%	1.7	2.4	2.8
再雇用人数 (単体)	人	233	225	189
管理職の人数 (単体)		1,391	1,397	1,431
女性比率	取締役会	0.0	0.0	14.3
	管理職 (単体)	3.0	2.9	3.1
女性主任職の人数 (単体)	人	72	77	84
女性管理職の人数 (単体)		39	41	45
女性採用比率 (単体)	スタッフ職 (事務・技術職)	14.9	19.9	18.8
	ライン職	8.9	5.3	10.8
女性の離職率 (単体)	事務・技術職	1.4	2.2	2.9
	技能職	6.9	7.6	5.3

	単位	2022年	2023年	2024年
育児介護休職制度利用数 (単体) ※1	合計	235	291	225
	男	157	216	190
	女	78	75	35
育児休職取得後の復職率 (単体) ※1	合計	100.0	100.0	100.0
	男	100.0	100.0	100.0
	女	100.0	100.0	100.0
男性の育児休職取得率 (単体) ※2		49.1	70.0	64.2
障がいのある方の雇用率 (単体、特例子会社含む)		2.32	2.46	2.58
障がいのある方の雇用人数 (単体、特例子会社含む) ※3	人	218	231	240
柔軟な勤務時間制度利用数 (単体) ※4		127	145	168
有給休暇取得率 (単体) ※5	%	93.8	96.2	94.6
労働者の一月当たりの平均残業時間 (単体) ※6	時間/月	25.7	23.2	15.3
ストレスチェック (単体) ※6	回収率	98.1	95.6	95.8
	高ストレス者率 ※7	102.8	117.7	107.8
非正規雇用率 ※8		26.3	26.4	26.2
団体交渉協定の対象となっている従業員の割合 ※9		69.1	69.6	69.8
稼働停止件数、およびそれにもなう労働損失日数 ※10	件 (日・人)	95直	267直	58直
初任給 (単体)	スタッフ職	212,000	212,000	235,000
	ライン職	174,500	174,500	187,800
男女の賃金格差 (単体)	正規雇用	76.5	77.5	78.7
	非正規雇用	84.6	86.8	88.8

- ※1 年度 (4月~3月) で算出
- ※2 正社員のみ。出産祝い金支給件数を分母とした推定値
- ※3 パート社員含む
- ※4 直接雇用の短時間勤務者 (4月1日時点)
- ※5 組合員を対象に算出。年休はさらに「5月1日付与者」に限定
- ※6 例年5月に実施
- ※7 2016年を100として算出
- ※8 ダイハツ工業単独における正社員、見習い社員以外の割合 (4月1日時点)
- ※9 ダイハツ工業単独における正社員 (係長級以下) シニアの割合 (4月1日時点)
- ※10 車両工場 (池田・京都・滋賀地区) の稼働休止数 (直)

SECTION 7

データ

109 環境関連データ

116 社会関連データ

117 GRI対照表

124 編集方針・更新履歴

トップメッセージ

SECTION 1
ダイハツ工業とは

SECTION 2
ダイハツ工業のストーリー

SECTION 3
ダイハツ工業の
サステナビリティ

SECTION 4
環境

SECTION 5
社会

SECTION 6
コーポレートガバナンス

SECTION 7
データ

